

令和5年度 第1回安曇野市健康づくり推進協議会

- 1 審議会名 安曇野市健康づくり推進協議会
- 2 日 時 令和5年7月12日 午後1時30分から午後2時45分まで
- 3 会 場 安曇野市 豊科ふれあいホール
- 4 出席者 伊藤委員、古川委員、佐藤委員、白上委員、青木委員、
高原委員、中田委員、細萱委員、嶋田委員
- 5 市側出席者 吉田部長、渡邊課長、小林センター長、沖室長、橋詰係長、
矢花係長、浅川係長、市川係長、佐野係長、小松係長、
宮澤副主幹、中村主査
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人 0人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 令和5年7月21日

協 議 事 項 等

【委員の委嘱】

- 任期 令和5年7月1日～令和6年6月30日（前任者の残任期間）
佐藤光委員、山田由紀委員、青木梓委員、高原里佳委員、高橋芳広委員

【協議事項】

- (1) 安曇野市健康づくり計画(第2次)最終評価報告について
- (2) 安曇野市自殺対策計画最終評価報告について
- (3) 令和4年度保健事業報告について
- (4) 令和5年度保健事業計画について
- (5) 安曇野市新型コロナワクチン接種について
- (6) 歯科口腔保健部会長の推薦について
- (7) その他

【会議概要】

- 1 安曇野市健康づくり計画(第2次)最終評価報告について
 - 資料に基づき、安曇野市健康づくり計画(第2次)最終評価結果を、グラフと5段階評価による結果・課題等について説明。

75歳未満のがんの年齢調整死亡率や特定保健指導実施率・乳幼児学童期の虫歯の状況等、目標に達した・改善傾向にあるの結果が全体の6割となったが、メタボリックシンドローム予備群・該当者数、子供壮年期の肥満者の割合、歯周病者の割合等悪化しており、変わらないを合わせると全体の4割となります。

また、今回の評価結果を現状分析した上で、取り組みを改善、強化し、ライフステージごとに生涯を通じた健康づくりを目指すことが必要と考えており、次期健康づくり計画策定に向けて、国の基本方針等を確認し、1人1人が健康に関心を持ち、取り組めるよう計画の策定を行う事を説明。

<主な意見>

- (会長) 感想として、6割がたは改善もしくは目標に達しているということで良いと思うが、傾向としては、やはり高血圧・メタボリックシンドローム、それから肥満・運動不足といったところが、目につくように思いました。

その辺をどうしていくかを、策定の上で盛り込んでいただければと思います。

2 安曇野市自殺対策計画最終評価報告について

○ 資料に基づき、安曇野市における自殺の状況を説明。安曇野市自殺対策計画の最終評価について、グラフと5段階評価による結果・課題等を説明。

市の自殺者数は、年によって増減はあるが、徐々に減少してきている。

また全国・県と比較すると、男女比では男性が女性の2.5倍と多い状況で、男性では20歳未満、40代、50代が多く、女性では40代、60代が多くなっている。

中でも50歳代の男性が特に多く全体の22.5%を占めている状況で、働き盛りの男性、そして20歳未満への働きかけが重要と考えている。

また、この最終評価を踏まえ、国の自殺総合対策大綱等を勘案しつつ、次期健康づくり計画と一体的に策定する事を説明。

<主な意見>

(委員) 報告を受け感じたことは、自殺対策は啓発活動をして、市民の皆さんに情報を浸透させていくしか防止の方法はないと思います。

地域におけるネットワークの強化、こうした啓発活動をする人達・人材の中には、地域の(児童)民生委員や、社協の活動員もいるわけですから、こういった組織に、啓発の周知徹底を図った上で、地道な個人的な対応等を含めた啓発活動に入ってもらうことが肝要ではないかと思います。

次の計画の中には、ネットワークが充実する方法を取り入れていただけたらと思います。

(会長) いろいろな面からたった一つの筋で自殺を防ぐのは多分無理だと思いますし、多面的に様々な人達が重なり合っていくことが非常に必要なことだと感じました。

また、策定の上で今の貴重なご意見を参考にさせていただければと思います。

(委員) 私は安曇野市PTA連合会に所属しており、今年度は、PTA組織は任意加入なのか強制加入なのかで揉めており、安曇野市17校の役員の皆さんが振り回されているという状況で、子どもたちのためにある団体組織が崩壊しつつあるということをお知らせしておきます。

なぜならば、先ほどのご意見に私も同感で、組織が崩壊していくということは、地域も危ういことになりかねなく、地域の育成会等で自殺に対する研修会を行うとか、やはり子どもに身近な大人ほどわかっていた方がいいと感じました。

また、社協穂高支所へ参加してと思いますが、お年寄りと子ども世代で世代間を超えた集まりは、より人間関係コミュニティが必要とされています。

資料を見させていただくと、同居でも命を絶ってしまう。20歳代の男子、働き盛りの男性が命を絶ってしまう。とても生きづらさをこの資料から感じました。

やはり地域をもう少し見直していくためにも、いろんな人たちにこのことをお知らせしていく必要があると思います。

(会長) 核家族という世帯が増えてきたこともあると思うが、昔は大きな家に、おじいさんおばあさん、もしかするとひいおじいさんおばあさん、3世代4世代が一緒に暮らしていて、みんながお互いに目をかけられることがあったし、隣の家

との関係がいい悪いとかは別として、繋がりがあったと思う。

私自身が住んでいるところもそうだが、行き来が無くなってきている事はあると思いますし、隣の家で何をやっているか、だんだん見えにくくなってきているので、ご意見にあったように、何とかしてネットワークを作っていくっていうことが、これからの時代は非常に重要になってくるかと思いました。

貴重なご意見ありがとうございます、策定に活かしていただければと思います。

3 令和4年度保健事業報告について

- 資料に基づき令和4年度の保健事業報告、重点事業及び新規事業を中心に説明。

人口は年々減少しており、高齢化率は令和4年で31.7%となっております。

介護保険第2号被保険者の、40から64歳の新規要介護認定者の主な原因疾患では、脳血管疾患が、男性では全体の20%、女性では18%と血管疾患の予防が課題です。

母子手帳アプリの導入や出産子育て応援給付事業の開始など、安心して出産子育てができるように、新たな事業を実施しており、乳幼児健診健康相談につきまちは、令和4年度から広さや個室等の環境が揃う穂高保健センターへ集約し、実施し乳幼児健診の平均受診率は98.2%でした。

また、小中学生の保健指導を新規事業として取り組みましたが、希望者のみに実施したため、実施人数は少数となっております。

新型コロナワクチン接種集団接種の実施ですが、穂高保健センターと堀金保健センターの2会場で行い、接種者は延べ6326件でした。また、生後6ヶ月から4歳までを対象とした乳幼児の接種が、令和4年11月から開始され、1回目は6.85%、2回目は6.31%、3回目が3.23%となっております。

<主な意見>

なし

4 令和5年度保健事業計画について

- 資料に基づき令和5年度の保健事業計画の重点事業及び新規事業、また令和4年度と比べて変更があった部分を中心に説明。

① 出産子育て応援給付事業

妊娠期から出産子育て期の相談支援と給付による経済的支援を一体的に実施する事業です。

② オプション newborn スクリーニング検査費助成事業

出産後に実施しているオプション newborn スクリーニング検査の検査費用の全額助成を実施し、保護者の経済的支援を図るとともに疾病の早期発見の推進を図ります。

③ 母子保健事業に関わるDX化の推進

母子手帳アプリ「母子モ」安曇野市版として運用を開始しました。母子保健や子育て支援に関する情報を保護者等により早く伝えることができます。安心して出産子育てができるように、アプリの普及に努めたいと思います。

<主な意見>

なし

5 安曇野市新型コロナワクチン接種について

- 資料に基づき、新型コロナワクチン接種の時期等を説明

新型コロナワクチン春接種、重症化を減らすことを目的として、5月8日から接種を開始。重症化リスクの高い65歳以上の方・基礎疾患を有する方、また医療従事者及び高齢者施設の従事者を対象とし限定的に進めています。

令和5年度新型コロナワクチン秋接種は、追加接種可能（初回接種済）の5歳以上の全ての方を対象として、接種期間中に1回接種を行うこととしています。

なお重症化を減らすことを目的に、令和5年9月以降、接種開始となりますが、具体的な開始日終了日は未定です。

<主な意見>

なし

6 歯科口腔保健部会長の推薦について

- ・佐藤委員（歯科医師会）、山田委員（歯科医師会）、を推薦
- ・事務局提案を全員の賛成により承認、会長の指名により、部会長に佐藤委員、副部会長に山田委員

7 その他

- 資料に基づき、次期健康づくり計画策定を説明

健康づくりに関係する四つの計画等の計画期間が令和5年度で終了することから、国・県の次期計画等と整合を図り、食育計画・自殺対策計画・歯科口腔保健行動指針を次期健康づくり計画と一体的に、令和5年度中に策定するものとなっております。

<主な意見>

なし

- 全体を通しての意見・質問等

<主な意見>

なし